学習指導案　略案様式（特別の教科　道徳を除く）

２年１組	指導者	○○○○	教科等	数学科

単元

単元名等	確率

目標	評価規準	⇐ ※どちらかを選択し、　　で囲ってください。
知識及び技能	知識・技能	○場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解することができるようにする。 ○簡単な場合について確率を求めることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察することができるようにする。 ◆確率を用いて不確定な事象をとらえて考察し説明することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○場合の数を基に得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとするようにする。

単元の学習展開（全６時間）

導入	□単元の学習計画を確認し、学習の見通しを持つ ・２枚の硬貨を投げる場面において、３通りの面の出方について疑問を持つ
展開	□数学的活動を通じて確率について理解し、その表し方を考察する ・同様に確からしいことを基にした確率について理解し、それを求めることができる ・多数回の試行によってよって得られたか確率と同様に確からしいことを基にして求めた確率を関連付けて考察することができる ・樹形図や表を利用して、起こりうるすべての場合の数を基に確率を求めることができる ・不確定の事象に関する問題を、確率を用いて説明することができる
終末	□単元全体を振り返り、確率について分かったことやもっと知りたいことをまとめる ・「確率」と日常生活や社会との関係に興味を持つ

本時（５／全６時間）

ねらい	くじを２人で引くときの当たりやすさの違いついて、先に引いた場合と後から引いた場合の当たる確率を比較することを通して、引く順番によって当たりやすさに違いがないことを説明できるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆思考・判断・表現　ワークシートの記述】）
学習過程	「めあて」 「確率を用いて、身の回りにある不確定な事象について説明してみよう」 『課題』 『くじを引く順番と当たりやすさの関係は、どのように説明することができるか』 『まとめ』 『それぞれの順番の当たる確率を出して比べると、くじを引く順番と当たりやすさには関係がないことが説明できる』 「振り返り」の視点 ・説明を考えるときにどんなことを意識したか

努力を要する状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
	自分の考えを整理して過不足なく話すことができない	話型を示して考えさせる ・「○○だと思います。理由は～」 ・説明の基本形　　等